

100歳おめでとうございます

4月・5月に100歳を迎えた人に、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



田中 ケサエさん
大正5年4月1日生



鞭馬 ナツさん
大正5年5月8日生

合志こども園に木製遊具を寄贈

3月23日、菊池地域木材需要拡大推進協議会が、合志こども園に木製遊具「ちいさな木のおうち」を寄贈しました。これは県産木材の需要拡大を目的に同協議会が行なっているもので、ことしで4回目となります。

園児たちは、贈呈式で感謝の言葉や花束とともに歌を贈り、式が終わると遊具で仲良く遊びました。



寄贈された「ちいさな木のおうち」

福島県浪江町・南相馬市から温かいメッセージ

5月9日、福島県浪江町と南相馬市の仮設住宅自治会から、本市職員・高野和子主幹のもとに温かいメッセージと手芸作品、支援金、特産の桑の葉で作ったドーナツなどが届けられました。

東日本大震災後、高野主幹は、個人的に自作のコメを2自治会の天野淑子さん（浪江町）や中島孝一さん（南相馬市）らに送りました。それ以来、毎年コメの他に市職員女性部で集めた古布や毛糸などを送っています。今回、浪江町から届いた手芸作品はその古布で作られたものです。

支援金は本市の復興のために活用させていただきます。温かいご支援、ありがとうございました。

※浪江町は全町避難が続いているため、仮設住宅は福島県二本松市にあります。



浪江町と南相馬市からの贈り物と高野主幹

人の動き

人口 60,111 (+103)

世帯 23,025 (+77)

出生 53 (-10)

死亡 36 (-4)

転入 361 (-266)

転出 275 (-268)

※4月末現在
()内は前月比

まずは、熊本地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。
そして震災以降、大変なときに取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。
二度と経験したくない災害。誰もが大変な思いをされたことと思います。いろんなものが傷つき、失われました。しかし、忘れていた大切なもの、大切なことに気づいた人も多かったのではないのでしょうか。支え合った家族、声を掛けてくれた隣人、困っているときに手を貸してくれた見ず知らずの誰か。安定した食住環境もその一つでした。
いつもそこにあった日常、当たり前の風景のありがたさ、人の心の温かさ。それらが地震の傷痕以上に強く、みんなの心に残るといいな。被災した皆さん、ボランティアの皆さんの話を聴きながら思ういました。

ちどりふで

